

議会運営委員会行政視察委員長報告

- 1 視察期日 平成19年10月9日（火）から10日（水）
- 2 視察地 富山県小矢部市 人口3万3,459人（平成19年4月1日現在）
石川県金沢市 人口45万4,442人（平成19年4月1日現在）
- 3 出席委員 現王園 孝昭、湯澤 清訓、工藤 日出夫
島野 和夫、伊藤 堅治、横山 功
加藤 勝明
- 4 視察事項
小矢部市
 - ・議会運営全般について
 - ・議会改革大綱について金沢市
 - ・議会運営全般について
 - ・常任委員会連合審査会の開催について

以上の視察事項について、順次報告いたします。

はじめに小矢部市の視察概要について報告いたします。

1 小矢部市議会の概要

小矢部市議会の議員数は、法定数26人、条例定数17人です。委員会の構成は、総務常任委員会6人、民生文教常任委員会6人、産業建設常任委員会5人、議会運営委員会6人、桜町プロジェクト特別委員会8人、新幹線対策・企業立地等特別委員会7人、決算特別委員会7人、予算特別委員会については議長を除く全議員となっています。

2 議会運営について

（1）議会運営委員会について

委員の選出方法は、3つの各常任委員会から2名を選出することになっており、議長はオブザーバーとして出席します。傍聴については委員長の許可により公開し、先着順で5名までとしています。会議録については事務局職員が要点筆記により作成し公開しています。

（2）予算・決算の審査方法

予算及び決算は対象となる議案のある定例会に、予算特別委員会及び決算特別委員会を設置し審査しています。

予算のうち当初予算については3日間の会期で審査しており、補正予算については各委員会に分割付託されています。委員は議長の選任により決定しますが、副議長が委員長となり、議長を除く全議員が委員となります。質疑は通告制で、特別委員会の開会2日前までに提出し、各委員が1時間の持ち時間で一問一答方式により行います。なお、歳入についてはすべて総務常任

委員会に付託されますので、特別委員会では歳出について審査します。

決算は継続審査とし、閉会中に3日間程度委員会を開き、12月定例会で委員長が報告をして質疑、討論、採決を行っています。委員は議長の選任により決定します。

(3) 委員長報告について

各委員会において骨子を決めてもらい事務局で案文を作成し、委員長会議での確認を経てから本会議で報告しています。委員長報告に対する質疑は通告制により行っています。

また、行政視察の委員長報告は本会議では行っていませんが、議会だよりの表紙を使い写真入りで各常任委員会の視察先と視察項目を紹介しています。

(4) ケーブルテレビによる放映について

小矢部市では特別会計のケーブルテレビ事業を行っており、2チャンネルを保有して番組を制作・放映しています。現在、番組の中に本会議や予算特別委員会を組み込み、本会議については生中継と当日夕方及び土曜日に再放映の合計3回を放映し、予算特別委員会については生中継と翌週に再放映の合計2回を放映しています。事務局が負担する経費は放映設備の初期導入経費とカメラのメンテナンス費用及び消耗品費のみということです。

市民のケーブルテレビ加入率は60%を超えており、特に議会放映は大変好評で、内容、時間、回数などについて今後さらに検討する必要があるということでした。

3 議会改革大綱について

小矢部市では、極めて厳しい財政の現状を踏まえ、住民の要請に応じて行政機能を適切に果たしていくためには、徹底した行財政改革に取り組まなければならないとして、平成15年11月に行財政改革推進本部を設置しました。そして、行政だけでなく議会も改革を進めていくべきであるという気運が高まり、同年12月に議会改革特別委員会を設置して議論を始めたとのことです。そこでは議会全般を対象とし、広く市民の意見を聞き、月1回の特別委員会での議論を経て平成16年12月に議会改革大綱という形でまとめることとされました。

この約1年間の特別委員会で結論に至らなかった検討事項については、議会改革特別委員会の解散後も議会運営委員会で引続き検討されており、大綱の具体化及びその実施が図られています。現在までに改革が進められた主な事項は、「議員定数を3名削減したこと」、「議会広報誌を共同印刷することにより経費を削減したこと」、「海外視察参加者を1名削減したこと」、「議長交際費を平成15年度の180万円から平成19年度には140万円に削減したこと」、「平成18年3月から予算特別委員会のCATV再放映を開始したこと」、「平成19年度から議長車を廃止したこと」などとなっています。

次に金沢市の視察概要について報告いたします。

1 金沢市議会の概要

金沢市議会の議員数は、法定数46人、条例定数40人です。委員会の構成は、総務常任委員会、産業企業常任委員会、市民福祉常任委員会、都市整備常任委員会、教育環境常任委員会の5常任委員会が各8人、議会運営委員会13人、新幹線対策特別委員会、世界遺産登録推進特別委員会、金沢港関連対策特別委員会、安全対策特別委員会の4特別委員会が各10人となっています。

2 議会運営について

(1) 議会運営委員会について

選出方法は、正副議長を除き各会派から3人につき1人の委員配分で選出しています。正副議長はオブザーバーとして出席します。定数は13人で任期は議員任期と同様ですが、毎年3月の議会運営委員会で委員の見直しをしているとのこと。委員会及び会議録はどちらも非公開ですが、市政記者クラブに加入している報道関係者には委員会の傍聴を許可しています。

(2) 議案調査について

昨年より、議会開会1週間前の議会運営委員会において予算説明会を開催するかどうか協議しています。現在のところ、議案の多い3月定例会のみ全議員に対し同時に予算説明会を開催しています。

(3) 予算・決算の審査方法

予算については、一般会計の当初予算及び補正予算の歳出を各常任委員会へ分割付託し、歳入を総務常任委員会に分割付託しています。特別会計及び企業会計は会計ごとに所管の常任委員会に付託しています。また、3月定例会では、当初予算及びこれに関連する議案に対する総括的な質疑に関して、常任委員会連合審査会を1日間、全議員参加の形式で開催しています。

決算については、一般会計及び特別会計は一般会計等決算審査特別委員会を、企業会計は企業会計決算審査特別委員会をそれぞれ設置し付託しています。閉会中も継続して審査し、次の議会において委員長報告をして質疑、討論、採決を行っています。

(4) 委員長報告について

各常任委員会の委員長報告については、3月定例会のみ行っています。報告の中には執行部に対する要望事項等も含んでおり、原案を正副委員長と担当書記で作成し、各委員の確認を経てからまとめています。質疑の有無はその都度議会運営委員会で確認しています。

行政視察の委員長報告については、本会議での報告は行わず、市のホームページ上において視察日、視察先、調査項目、調査目的、調査概要、調査内容、質問応答をまとめて公開しています。

3 常任委員会連合審査会の開催について

3月定例会では、当初予算ならびにこれに関連する市長提出議案全部に対する総括的な質疑に関して、総括質疑の実施時期に、全常任委員会による連合審査会を1日間、全議員参加の形式で開催しています。

運営方法については、総務常任委員長が長となり、他の4常任委員会の委員長と協議・連携をとりながらその職務を行います。連合審査会開催の要請は、総務常任委員会の発議により他の4常任委員会へ呼びかけ、その要請に各常任委員会が応諾した後に同時に連合して開催します。出席する説明員は市長、副市長、教育長、消防局長、公営企業管理者、各局長等及び主に予算を取扱う課長となっています。

質疑の方法は一問一答方式を採用しており、質疑時間は会派持ち時間制としています。持ち時間の内訳は、「会派の均等基本時間30分」と「会派人数に議員1人当たりの基本時間3分を乗じた時間」の合計となっています。なお、持ち時間には執行部の答弁時間を含めます。

発言は通告制で、会派ごとに発言予定者及び質疑項目を取りまとめ、開催日の前々日の午後5時までに総務常任委員長に届け出ることになっています。発言は所属議員の多い会派から順に行い、同数の場合は総務常任委員長が順位を決定します。会派内の発言順位は会派内において決定します。

傍聴については傍聴席の設置可能な範囲内で認めており、傍聴席に入れない場合には別室で音声のみですが聴取できるようにしています。

常任委員会連合審査会の長所については、連合審査会で総括的な質疑をすることにより、各常任委員会では専門的に詳細な議案審査ができるため、審査にメリハリがつくということでした。また、予算特別委員会と比較しても、審査の開催日数の縮減が図れるほか、例えば一部議員の構成による予算特別委員会の場合では、予算審査に一切関わることができない議員が出てしまうという問題があるがそれが解消されるということでした。

以上、報告いたします。

なお、詳しい資料は、議長への視察報告書に添付してありますので、必要な方は御覧いただきたいと存じます。

平成19年11月29日

北本市議会運営委員会
委員長 加藤 勝明

北本市議会議長 横山 功 様

平成19年11月28日

北本市議会議長
横山 功 様

議会運営委員会
委員長 加藤 勝 明

平成19年度議会運営委員会行政視察について（報告）

このことについて、下記のとおり行政視察を実施してまいりましたので報告いたします。

記

- 1 期 日 平成19年10月9日（火）から10日（水）
- 2 視 察 地 富山県小矢部市
石川県金沢市
- 3 視察項目 別紙委員長報告のとおり
- 4 視察概要 別紙委員長報告のとおり
- 5 出席委員 湯 澤 清 訓、現王園 孝 昭、工 藤 日出夫
島 野 和 夫、伊 藤 堅 治、横 山 功
加 藤 勝 明
- 6 随 員 議会事務局長 小 川 保
議会事務局主事 古 畑 良 健